

平成29年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	9. 図書館電算整備事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	4. 図書館費	担当所属	佐倉図書館

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	第3章	心豊かな人づくり、まちづくり	5年間計画額	136,039
臨時	単独	計画	0	0	24,215		基本施策3	生涯学習の推進	平成28年度	23,176
									平成29年度	13,332
							平成30年度	33,177		
							平成31年度	33,177		
						施策1	生涯学習の環境を整備します	平成32年度	33,177	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		12,976

財源内訳								一般財源
本年度当初要求額								0
本年度当初査定額								12,976

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 図書館システムの安定稼働のためシステム機器等の賃借、機器保守、システムソフト保守を行い、図書館サービスを提供します。</p> <p>現行システムの賃貸借が平成29年2月で契約期間満了となりますが、1年間の再リース契約をいたします。それ以降につきましては、システムの保守終了、またインターネット等で利用者へのサービスに障害を来す恐れがあることから新図書館システムの導入が必要です。</p>	<p>(事業の目的) 図書館システムを整備し、貸出・返却・蔵書管理等の基幹業務の円滑な遂行、またインターネットを活用した検索、予約等、市民サービスの充実を図ります。</p> <p>新図書館システムにつきましては、現行機能を維持し図書館基幹業務が円滑に行えることを基本とし、利用者サービス向上・利用者の増加を図るため、Webによる操作性の向上、国会デジタル送信端末の設置、また将来的に電子書籍に対応可能なシステムの導入を目的とします。</p>	<p>(事業の効果) 図書館システムの整備により貸出・返却・蔵書管理等の基幹業務を円滑に行うことができ、またインターネットを活用した蔵書検索、資料予約等の市民サービス向上が図られます。</p> <p>新図書館システムの導入につきましては、公募型プロポーザルにより機能、運用、価格等を総合的に判断し、現行機能を維持しつつ、より使いやすいシステムを導入することにより円滑な業務の遂行と社会情勢に即した市民サービスの向上が図られます。</p>
<p>(事業実施上の問題点)</p>	<p>(前年度からの見直し点)</p>	<p>(見直しについての特記事項) 平成29年3月より1年間、現行の図書館システムを再リース。平成29年4月から平成30年2月までの11ヶ月分及び平成30年3月からの導入を予定している新図書館システムの賃貸借経費1ヶ月分を計上する。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
14	12,976	23,158	△10,182

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
								差引一般財源	0	12,976	0